

[23_06]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470155>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 23 (6), 1990-11-26. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



編集後記

福岡にきて（ぼやぼやしている間に）はや8ヶ月、上空を通る飛行機の騒音にもなれました。福岡の街のペースにもなれたような気がします。ところで季節はすっかり秋のはずなんですけどまだ日中はぼかぼかしていてすごしやすいですね。例年こんなものでしょうか？（なにせ今年は異常気象だから…）それとも福岡の気候になれていないだけ？（S C H）

今年は殊の外暑い夏が続き、10月の声を聞くと今度は朝夕が急に冷え込む。我々には体調をベストに保つのが難しいのですが、雑木林の紅葉には最適とか、野山にも街路樹にも秋の化粧が施され、本当に美しい季節です。

秋と言えば他にも食欲の秋、勉学の秋、芸術の秋、文化の秋、いろいろな修飾語が用いられます。

先日、声楽を学んでいる従姉妹が地方の音楽祭ですが、一応大賞をいただいたので、その招待演奏会に行きました。日本ではまだまだオペラなど普通の人には遠い存在です。挨拶の中で彼女が「ウィーンなどでは本当に音楽は生活の一部なんですよ」と強調していました。「日本でもそういう時代がくることを心から願わずにはいられません」とも。しばし美しいソプラノの歌声が響く中、別世界にいる思いでした。ピアノ演奏に心を魅かれたわが家の娘、次の日からピアノに向かう時間が増えました。いつまで続くことやら……。

さて、11月3日は文化の日、あちこちでいろんな催し物があったと思いますが、我がK町でも文化祭、お手伝いをする立場にある私も1日を費やしましたが、本当に今“女性の時代”をつくづく実感しました。文化の花開く秋、何も女性だけのものではない筈ですが、わが町では展示されている作品も大部分女性、舞台の方もほとんど女性、動かしているのも動いているのも女性、女性。ホントにすご——いの一言。（圧倒されてばかりのか弱きもと乙女S. A）